



県道水上片品線 スノーシェッド整備



大芦沢 土石流対策



県道富士山横塚線(横塚工区) 現道拡幅

よ く わ か る
公 共 事 業

～ 公共事業の目的、効果、進捗状況を情報発信 ～

利根沼田地域

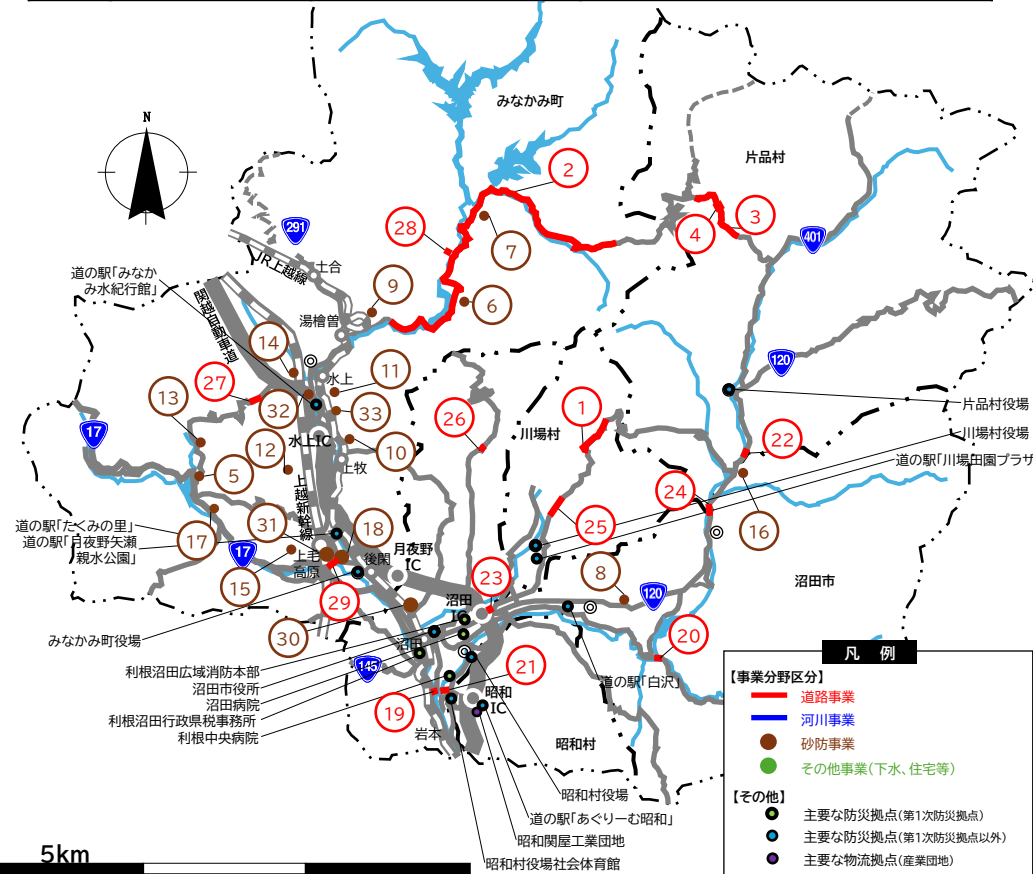
令和8年度版

利根沼田地域



番号	事業内容	施工箇所	路河川名
1	落石対策	川場村川場湯原	県道平川横塚線
2		みなかみ町藤原ほか	県道水上片品線(みなかみ工区)
3		片品村戸倉	県道水上片品線(片品工区)
4	スノーシエッド整備	片品村戸倉	県道水上片品線(戸倉4工区)
5	土石流対策	みなかみ町相俣	葦ノ沢
6		みなかみ町藤原	平出沢
7		みなかみ町藤原	大芦沢
8		沼田市白沢町生枝	夏保沢
9		みなかみ町綱子	下西ノ沢
10		みなかみ町奈女沢	奈女沢
11	がけ崩れ対策	みなかみ町小日向	小日向1地区
12	土石流対策	みなかみ町小川	塩沢
13	がけ崩れ対策	みなかみ町相俣	赤谷3地区ほか
14		みなかみ町阿能川	阿能川地区
15	土石流対策	みなかみ町羽場	東神楽沢
16	がけ崩れ対策	沼田市利根町平川	伊香原1-2地区
17	土石流対策	みなかみ町新巻	十二河原沢ほか
18	がけ崩れ対策	みなかみ町月夜野	町並地区
19	老朽橋梁架替	沼田市屋形原町	県道戸鹿野下之町線(戸鹿野橋)
20		沼田市利根町園原	県道沼田大間々線(赤城根橋)
21	バイパス整備	昭和村森下	県道昭和インター線(森下工区)
22		片品村下平 ～沼田市利根町平川	国道120号(下平工区)
23		沼田市横塚町	県道富士山横塚線(横塚工区)
24	現道拡幅	沼田市利根町追貝	国道120号(追貝工区)
25	歩道整備	川場村川場湯原	県道平川横塚線(川場湯原工区)

番号	事業内容	施工箇所	路河川名
26	孤立対策	沼田市上発知町	県道上発知材木町線(上発知工区)
27		みなかみ町阿能川	県道相俣湯原線(阿能川工区)
28		みなかみ町藤原	県道宝川久保線(藤原工区)
29		みなかみ町上津	県道小日向沼田線(上津工区)
30	がけ崩れ対策	沼田市井土上町	井土上(下)地区
31		みなかみ町月夜野	上組1地区
32		みなかみ町湯原	湯原地区
33	土石流対策	みなかみ町小日向	天神腰沢



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

道路への落石を防ぐ施設をつくります

地元の声

- ・斜面が近く、木で斜面の状態が見えないため、不安がある。(道路利用者)
- ・悪天候時に落石が発生しやすいため、安心して通行できる道路にして欲しい。(道路利用者)

事業の概要

- 事業箇所:川場村川場湯原
- 事業内容:落石対策 4箇所
- 事業期間:平成29年度～
- 現在の交通量:5,401台/日(自動車)(令和3年度)
- 緊急輸送道路区分:第2次緊急輸送道路

事業前

- ◆ 道路法面の浸食が進行しており、大雨等の際には、落石や土砂崩落が発生して道路が寸断され、孤立集落が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 法面の落石対策を行うことで、落石や土砂崩落による道路の寸断を防止し、孤立集落が発生するリスクを軽減します。



事業後のイメージ

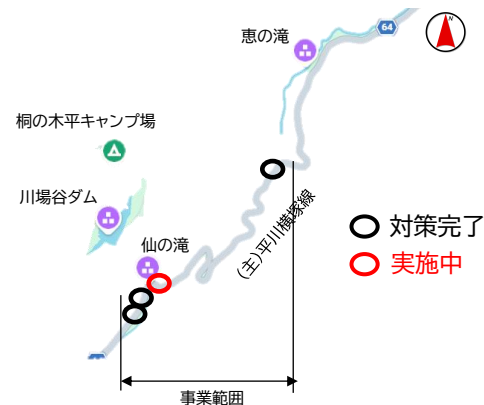
成果を示す項目	実施前
道路上への落石・土砂流出件数	3件程度/月
斜面の危険箇所数	4箇所



実施後(目標)
0件
0箇所



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、落石対策工事を実施し、事業を完了させます。



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

落石を防ぐ施設をつくります

地元の声

・尾瀬などの観光地へのアクセスルートのため、安全に通れるようにしてほしい。(道路利用者)

事業の概要

- 事業箇所: みなかみ町栗沢～藤原
- 事業内容: 落石対策 32箇所
- 事業期間: 平成30年度～
- 現在の交通量: 2,918台/日(自動車) (令和3年度)
- 緊急輸送道路区分: 第3次緊急輸送道路

事業前

◆ 法面の浸食が進み、大雨等の際に落石や土砂崩落により道路が寸断するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆ 法面の落石対策工事により、道路への落石を防ぐことで、道路の寸断リスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
落石危険箇所	32箇所	0箇所



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、未対策箇所(4箇所)の工事を実施します。



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

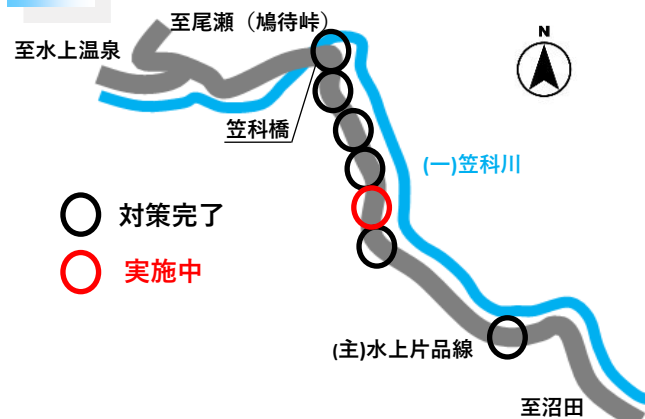
落石を防ぐ施設をつくります

地元の声

・尾瀬などの観光地へのアクセスルートであるため、安全に通れるようにしてほしい。(道路利用者)



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



事業の概要

- 事業箇所: 片品村戸倉
- 事業内容: 落石対策 7箇所
- 事業期間: 平成30年度～
- 現在の交通量: 384台/日(自動車) (令和3年度)
- 緊急輸送道路区分: 第3次緊急輸送道路

事業前

◆ 法面の浸食が進み、大雨等の際に落石や土砂崩落により道路が寸断するおそれがあります。



落下のおそれのある石



事業前の状況

事業後

◆ 法面の落石対策工事により、道路への落石を防ぐことで、道路の寸断リスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
落石危険箇所数	7箇所

実施後(目標)
0箇所

今、何をしているか

令和8年度は、未着手箇所の工事開始に向けた調整を行うとともに、対策工事が完了した一部箇所の道路台帳修正を実施します。



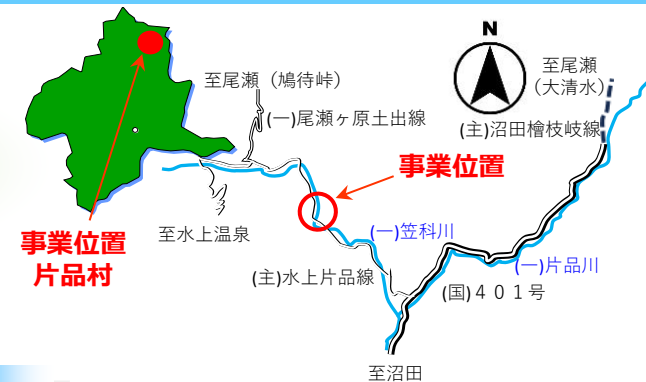
どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

スノーシェッドをつくります

地元の声

・残雪期の雪崩による道路への被害を防いでほしい。(道路利用者)



事業の概要

- 事業箇所: 片品村戸倉
- 事業内容: スノーシェッド整備 延長72m
- 事業期間: 令和元年度～

- 現在の交通量: 384台/日(自動車) (令和3年度)
- 緊急輸送道路区分: 第三次緊急輸送道路

事業前

◆春の雪解けにより、斜面の残雪が道路上に崩れ落ち、道路を寸断するおそれがあります。



事業前の状況

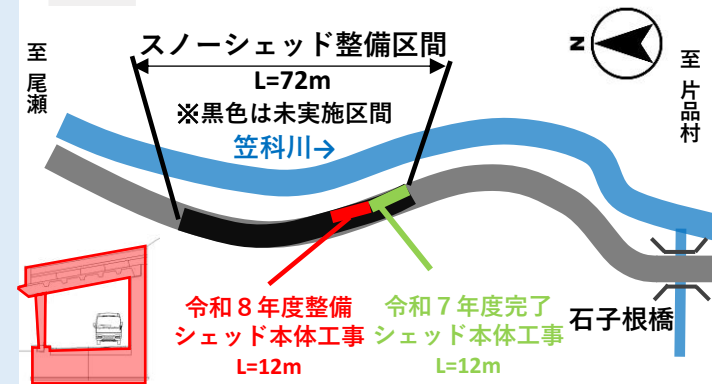
事業後

◆スノーシェッドの整備により、残雪が道路に崩れ落ちるのを防ぎ、安全な通行を確保します。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

これまでは谷側の第1区間が完了し、令和8年度は、前年度に引き続きスノーシェッド本体の工事を実施します。



成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
雪崩のおそれによる夜間通行止め	11日/10年	0日/年

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくりました

地元の 声

- ・集中豪雨などの際に発生する土石流に対して、不安を抱いている。(地元住民)
- ・早期に砂防堰堤を完成させてほしい。(地元住民)



事業位置
みなかみ町

事業の概要

- 事業箇所: みなかみ町相俣
- 事業内容: 砂防堰堤3基
- 事業期間: 平成28年度～ 令和7年度

事業前

- ◆ 溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

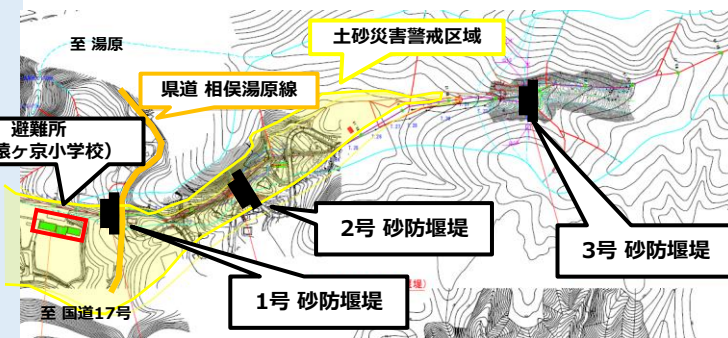
事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業後の状況

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度に事業が完成し、土砂災害のリスクが軽減されました。



3号堰堤

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	6戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	2施設 (旧猿ヶ京小学校)
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所 (県道相俣湯原線)

実施後(目標)
0戸
0施設
0箇所

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくりました

地元
の
声

・台風や大雨が降ると土石流が発生する心配があるので、早く堰堤が出来ることを望む。(地元住民)



事業の概要

- 事業箇所: みなかみ町藤原
- 事業内容: 砂防堰堤 1基
- 事業期間: 平成29年度～令和7年度

事業前

- ◆ 溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。

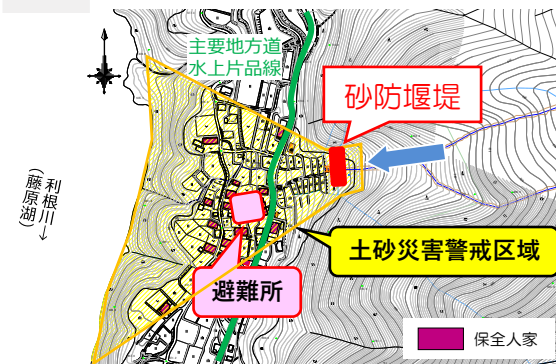


事業後の状況

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	15戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (平出会館)
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所 (県道水上片品線)

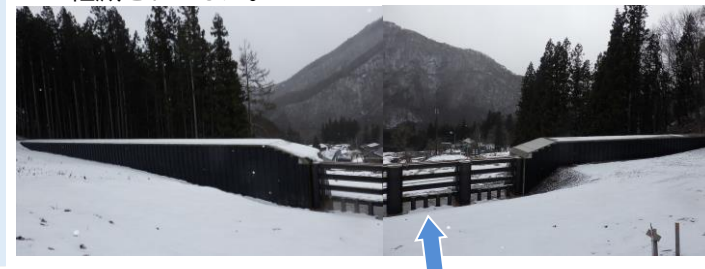
実施後(目標)
0戸
0施設
0箇所

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度に事業が完成し、土砂災害のリスクが軽減されました。



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくりました

地元の 声

・毎年、豪雨による出水が心配で早く堰堤が出来ることを望んでいます。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所:みなかみ町藤原
- 事業内容:砂防堰堤 1基
- 事業期間:平成29年度～令和7年度

事業前

- ◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業後の状況

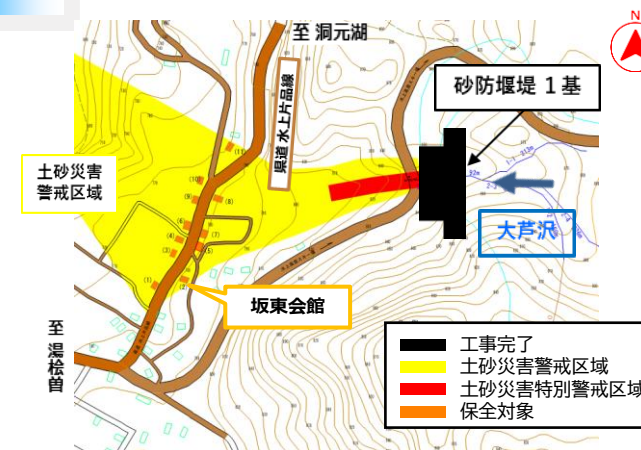
成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	11戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (板東会館)
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所 (県道水上片品線)

実施後(目標)
0戸
0施設
0箇所

事業位置
みなかみ町



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度に工事が完了し、土砂災害リスクが軽減されました。



砂防堰堤完成状況

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤をつくります

地元の声

・集中豪雨等による土石流が心配。下流には人家や畑が多いので、対策してほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 沼田市白沢町生枝
- 事業内容: 砂防堰堤 1基
- 事業期間: 平成29年度～

事業前

◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

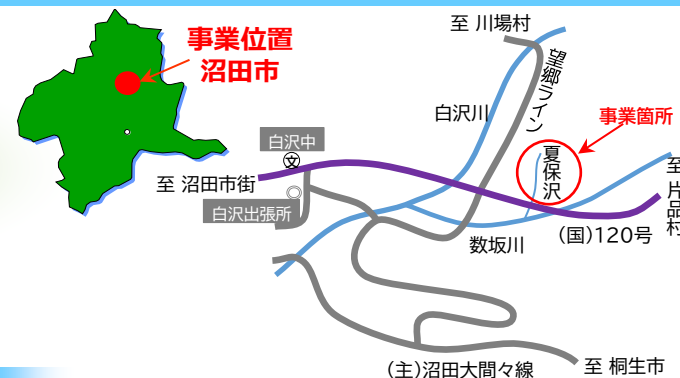
◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	87戸
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所 (国道120号)

実施後(目標)
0戸
0箇所



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、砂防堰堤の工事を実施します。



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤をつくります

地元の声

- ・豪雨による土砂災害の被害が心配なので、一刻も早く砂防堰堤を建設してほしい。(地元住民)
- ・過去の大雨で西の沢から土砂が溢れたので、頑強で大きな砂防堰堤を建設してほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所:みなかみ町綱子
- 事業内容:砂防堰堤 1基
- 事業期間:平成29年度～

事業前

- ◆ 溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。

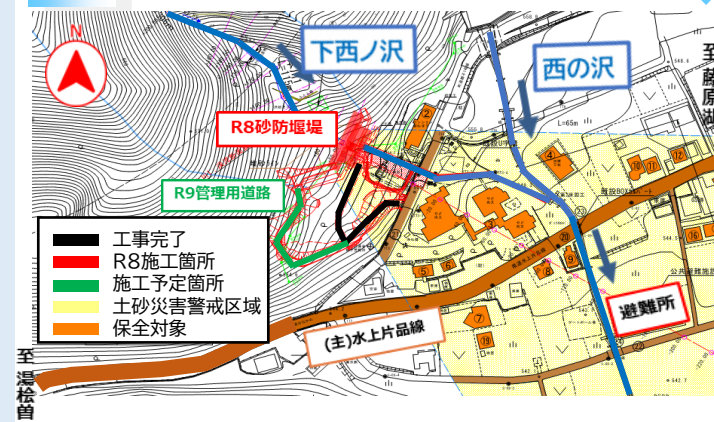


事業後のイメージ

事業位置 みなかみ町



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、法面及び砂防堰堤の工事を行います。



堰堤計画位置

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	18戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (農林漁業者等健康増進施設)
被害を受けるおそれのある重要交通網	1路線 (県道水上片品線)

実施後(目標)
0戸
0施設
0箇所

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくります

地元 の声

・毎年、梅雨の時期の出水が心配で、早く堰堤ができることを望みます。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所:みなかみ町奈女沢
- 事業内容:砂防堰堤 3基
- 事業期間:平成29年度～

事業前

- ◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

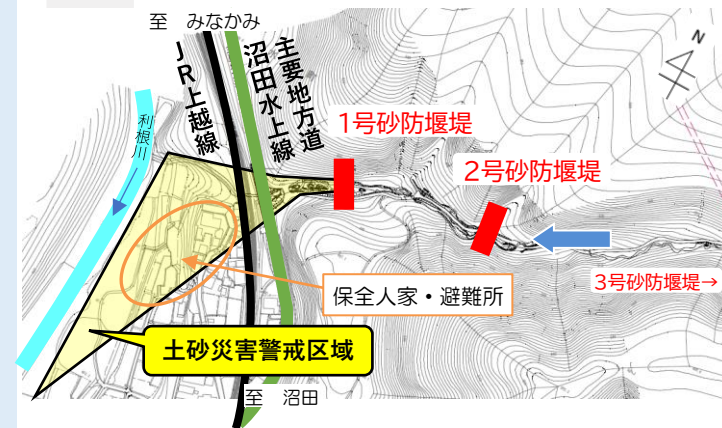
成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	8戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (奈女沢集会場)
被害を受けるおそれのある重要交通網	2箇所 (県道沼田水上線、JR上越線)

実施後(目標)
0戸
0施設
0箇所



事業位置
みなかみ町

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、1号堰堤の工事を引き続き行うとともに、2号堰堤の工事用道路の工事を行います。

2号堰堤工事用道路施工状況



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵と擁壁をつくります

地元の声
・急勾配の山があるため、大雨が降ったりすると非常に心配。(地元住民)



事業の概要

- 事業箇所: みなかみ町小日向
- 事業内容: 防護柵工 L=187m、擁壁工 L=122m
- 事業期間: 令和元年度～

事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。

事業前の状況

事業後

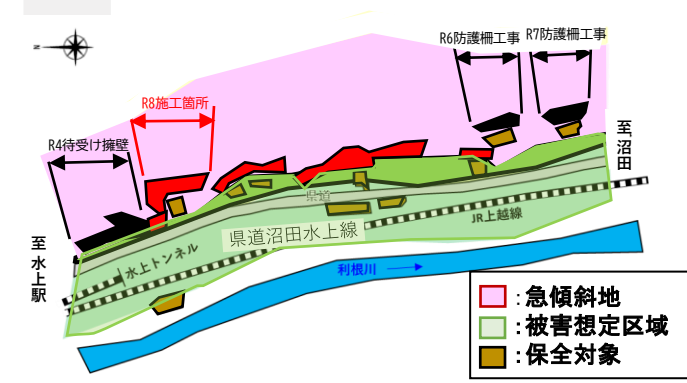
- ◆ 防護柵・擁壁をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	11戸
被害を受けるおそれのある重要交通網	2路線 (県道沼田水上線、JR上越線)

実施後(目標)
0戸
0路線

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか
令和7年度で防護柵工事が完了したため、令和8年度は、擁壁の工事を行います。



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくりました

地元 の声

・集中豪雨等が多く、土石流や出水による被害が心配なので、早く堰堤を整備してほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所:みなかみ町小川
- 事業内容:砂防堰堤 4基
- 事業期間:平成13年度～令和7年度

事業前

- ◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業後の状況

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	49戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (小和知公民館)
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所 (国道291号)

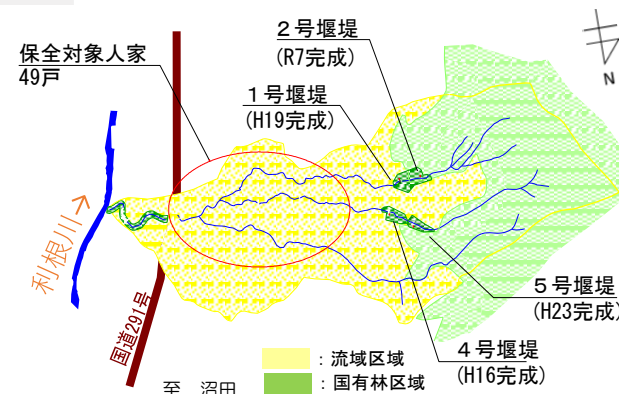
実施後(目標)
0戸
0施設
0箇所



事業位置
みなかみ町

事業箇所

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度に工事が完了し、土砂災害リスクが軽減されました。



2号堰堤の状況

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

擁壁をつくりました

地元の声

- ・ かけ崩れから避難所に指定されている赤谷公民館を守っていただきたい。(地元住民)
- ・ 急勾配の山があるため、大雨が降ったりすると非常に心配。(地元住民)
- ・ 雨が降ると土砂が流出してくるので対策してほしい。



事業位置
みなかみ町

事業の概要

- 事業箇所: みなかみ町相俣
- 事業内容: 擁壁工 L=72m
- 事業期間: 令和2年度～令和7年度

事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でかけ崩れが発生するおそれがあります。



保全対象 (赤谷公民館)

事業前の状況

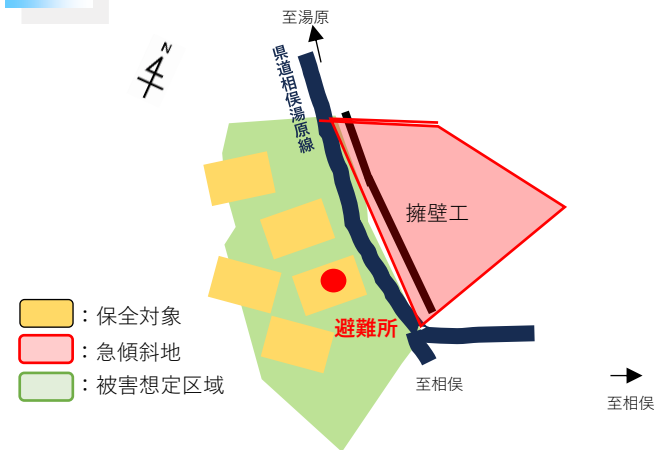
事業後

- ◆ 擁壁をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、かけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後の状況

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



- : 保全対象
- : 急傾斜地
- : 被害想定区域

今、何をしているか

令和7年度に事業が完了し、かけ崩れリスクが軽減されました



擁壁完成の状況

成果を示す項目	実施前
被害を受ける恐れのある人家	9戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (赤谷公民館)
被害を受けるおそれのある重要交通網	1路線 (県道相俣湯原線)

実施後(目標)
0戸
0施設
0路線

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵と擁壁を
つくります

地元の声

- ・かけ崩れから避難所に指定されている阿能川会館を守っていただきたい。(地元住民)
- ・急勾配の山があるため、大雨が降ったりすると非常に心配。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所:みなかみ町阿能川
- 事業内容:防護柵工 L=103m、擁壁工 L=63m
- 事業期間:平成30年度～

事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でかけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 防護柵・擁壁をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、かけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

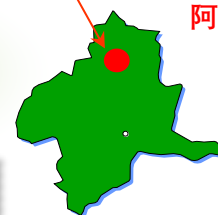


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	6戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (阿能川会館)

実施後(目標)
0戸
0施設

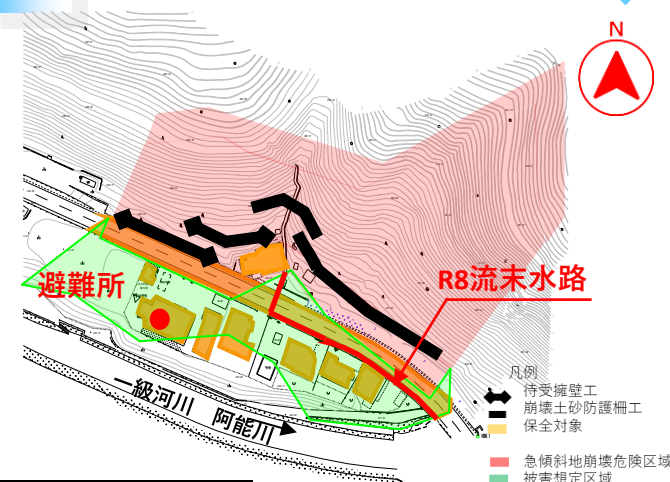
事業位置
みなかみ町



阿能川地区



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度までに、防護柵工及び擁壁工が完成しました。
令和8年度は、流末水路の工事を実施します。



工事箇所状況

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくりました

地元 の声

- ・近年は集中豪雨が多く、土石流などの自然災害に不安を抱いている。(地元住民)
- ・砂防堰堤を早期に完成させてほしい。(地元住民)



事業位置
みなかみ町

事業箇所

事業の概要

- 事業箇所: みなかみ町羽場
- 事業内容: 砂防堰堤 1基
- 事業期間: 令和3年度～ 令和7年度

事業前

- ◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

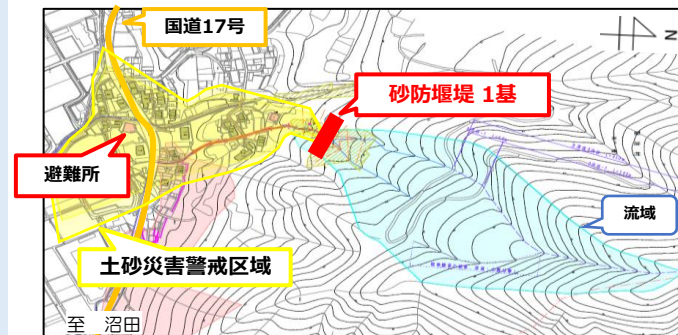
事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業後の状況

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度に事業が完成し、土砂災害のリスクが軽減されました。



成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	49戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (下羽場公民館)
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所 (国道17号)

実施後(目標)
0戸
0施設
0箇所

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤をつくります

地元の声

- ・梅雨の時期の集中豪雨が心配である。(地元住民)
- ・早期に砂防堰堤を完成させてほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所:みなかみ町新巻
- 事業内容:砂防堰堤 2基
- 事業期間:令和4年度～

事業前

- ◆ 溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

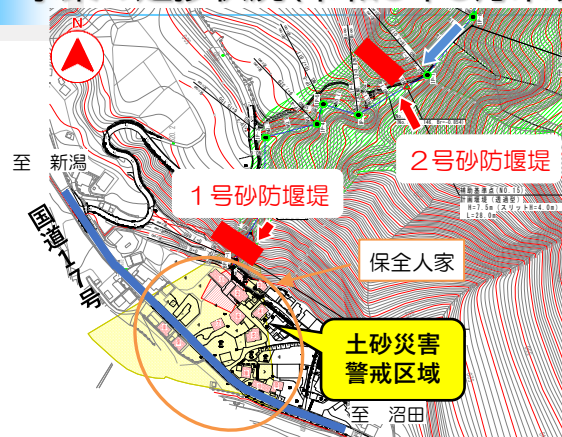
成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	12戸
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所 (国道17号)

実施後(目標)
0戸
0箇所



事業位置
みなかみ町

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、用地取得と工事用道路の工事を実施します。



堰堤設置予定位置

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

法面対策をします

地元の声

- ・急勾配の斜面が住居と近く、大雨が降ったりすると非常に心配。(地元住民)
- ・雨が降ると土砂が流出してくるので対策してほしい。



事業の概要

- 事業箇所: みなかみ町月夜野
- 事業内容: 法枠工 A=2,000m²
- 事業期間: 令和5年度～

事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でかけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 法面対策をすることにより、斜面を安定させ、かけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

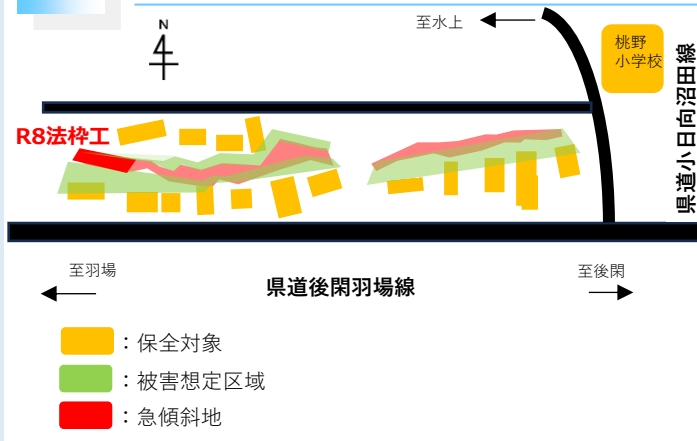


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	16戸

実施後(目標)
0戸

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、用地取得と法面の工事をを行います。



斜面の状況

どのような未来を目指すための事業か

インフラの健全性を次世代に引き継ぐため

老朽化した橋梁を架替えます

地元の声

- ・早急に片側交互通行を解消してほしい。(地元住民)
- ・安全に通行することができる健全な橋梁を整備してほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 沼田市利根町園原～利根町日向南郷
- 事業内容: 老朽橋梁架替 橋長 79.0m 道路幅 7.0m
- 事業期間: 令和3年度～
- 現在の交通量: 1,026台/日(自動車) (令和3年度) 4人/12時間(歩行者) 2台/12時間(自転車)

事業前

◆ 老朽化を原因とした損傷が発生したことにより、片側交通規制を実施し、円滑な通行に支障を来しました。



事業前の状況

事業後

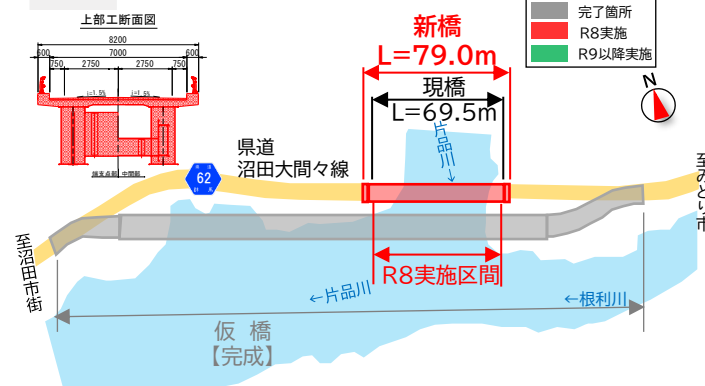
◆ 新橋が開通することで橋の健全性が改善され、円滑な通行が確保されます。



事業後のイメージ



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、新橋架替時に必要な迂回路用の仮橋工事を実施し、交通を仮橋へ切り替えました。
 令和8年度は、現在の橋を撤去する工事を実施し、その後新橋の橋台工事に着手します。



成果を示す項目	実施前
道路橋の機能の確保	主要部材に損傷あり(Ⅲ判定)

実施後(目標)
損傷なし

しょうわ もりした
県道昭和インター線（森下工区）バイパス整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

観光地の周遊性向上による観光振興を図るため

バイパス道路をつくります

地元の声

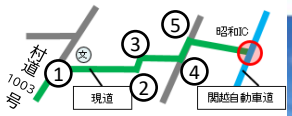
- ・現道は交差点が多くルートが複雑で昭和ICへのアクセスが分かりにくい。(観光客)
- ・現道は幅員が狭く、歩道が無い区間があるため非常に危険である。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 昭和村森下
- 事業内容: バイパス整備 延長 760m 道路幅 10.0m
- 事業期間: 平成26年度～
- 現在の交通量: 3,193台/日(現道 自動車)
 (令和3年度): 105人/12時間(歩行者)
 : 10台/12時間(自転車)
- 計画交通量 : 7,000台/日(バイパス 自動車)
 (令和12年度)

事業前

◆ 現道は線形不良で交差点も多く、昭和インターチェンジまでの通行に支障があります。



事業前の状況

事業後

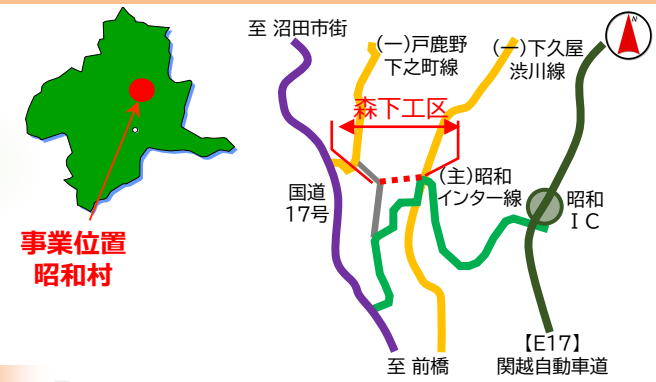
◆ バイパス道路によりインターチェンジまでの交差点数が減り、円滑な通行が確保されます。



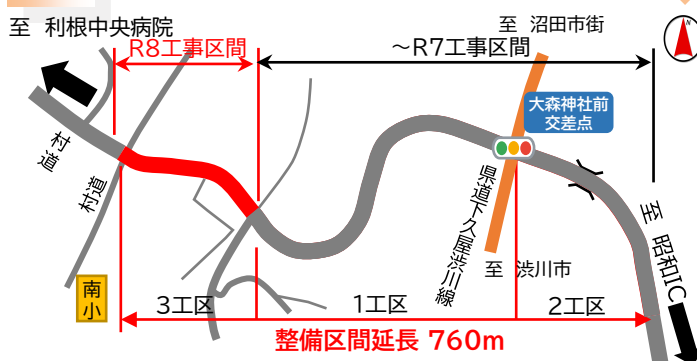
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
周辺観光施設の観光客数	37万人(H25年度)
交差点の箇所数 (昭和IC～村道1003号)	5箇所
車両と歩行者のすれ違い	危険(歩道なし)

実施後(目標)
37万人(維持)
2箇所(3箇所減少)
安全(片側歩道2.5m)



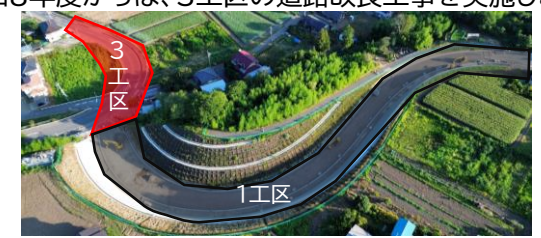
事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



10.0m		
0.75m	3.0m	0.75m
歩道	車道	車道
2.5m	3.0m	3.0m

今、何をしているか

令和7年度までに1、2工区の道路改良工事を実施し、令和8年度からは、3工区の道路改良工事を実施します。



事業のすずみ具合



しもだいら
国道120号（下平工区）バイパス整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

観光地の周遊性向上による観光振興を図るため

バイパス道路をつくります



地元の声

- ・観光地である尾瀬へ向かう道路を円滑に通行できるようにしてほしい。（道路利用者）
- ・見通しが悪く事故が発生しているため、カーブをゆるくしてほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：片品村下平～沼田市利根町平川
- 事業内容：バイパス整備 延長580m 道路幅10.3m
- 事業期間：令和元年度～
- 現在の交通量：7,134台/日（現道 自動車）
（令和3年度） 60人/12時間（現道 歩行者）
8台/12時間（現道 自転車）
- 計画交通量：7,600台/日（バイパス 自動車）
（令和12年度）

事業前

- ◆ 道路の見通しが悪く、道路幅員も狭いため、大型車のすれ違いが困難であり、円滑な通行に支障があります。

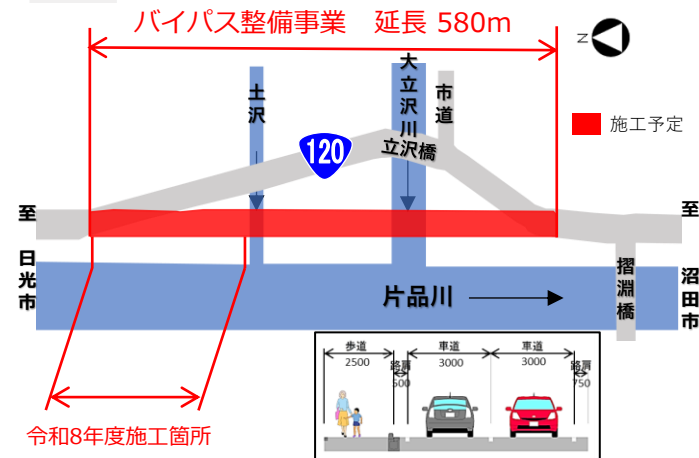


事業後

- ◆ バイパス整備により急カーブを解消するとともに、道幅が広く、見通しの良い道路とすることで、円滑な通行を確保します。



事業の進捗状況（令和8年3月末現在）



今、何をしているか

これまでは橋梁工事や一部盛土工事を実施し、令和8年度は引き続き盛土工事を行います。



成果を示す項目	実施前
急カーブ数	1箇所
周辺観光施設の観光客数	168万人/年(H30)

実施後（目標）
0箇所（1箇所減少）
168万人/年（維持）

事業完了

どのような未来を目指すための事業か

安全で快適な移動を可能にするため

道路を拡幅しました

地元の声

- ・「道の駅川場田園プラザ」など川場村内の観光施設に行く際に渋滞が激しい。（観光客）
- ・道路を広げたり歩道を設置して通行の安全を確保してほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所: 沼田市横塚町
- 事業内容: 現道拡幅 延長300m 道路幅9.8m
- 事業期間: 平成28年度～ 令和7年度
- 現在の交通量: 3,621台/日(自動車) (令和3年度)

事業前

- ◆ 「道の駅川場田園プラザ」など、川場村内の観光施設を訪れる観光車両により、沼田ICの周辺道路で渋滞が発生しており、円滑な通行に支障がありました。



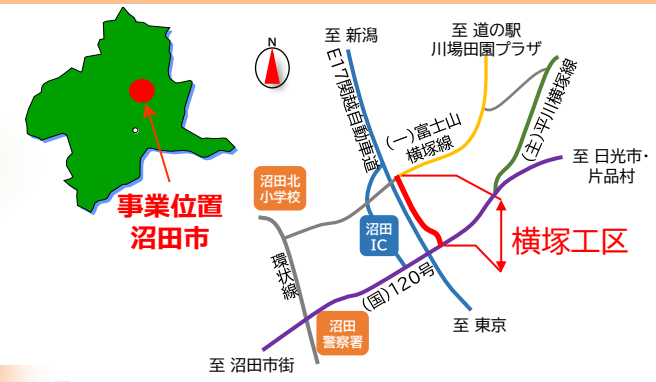
事業前の状況

事業後

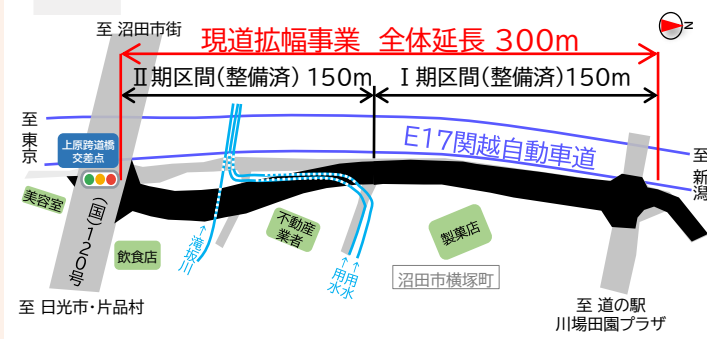
- ◆ 道幅が狭い区間を拡幅し、観光車両を県道富士山横塚線へ誘導することで、周辺道路の渋滞を解消、円滑な通行を確保しました。



事業後の状況

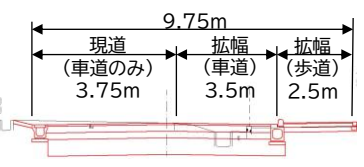


事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度に現道拡幅工事が完了し、安全で快適な移動が可能になりました。



【I 期区間完成】

【II 期区間完成】



成果を示す項目	実施前
県道平川横塚線の渋滞長(最大)	1,300m
周辺観光施設の観光客数	165万人(H27年度)

実施後(目標)
0m(1,300m短縮)
165万人(維持)

事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

おっかい
国道120号（追貝工区）現道拡幅事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

観光地の周遊性向上による観光振興を図るため

道路を拡幅し
カーブをゆるくします

地元の声

- ・路面凍結による事故が多いため、日当たりをよくし、カーブをゆるくしてほしい。(地元住民)
- ・観光バス等の大型車両の通行が危険なため、道路を広げて見通しをよくしてほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 沼田市利根町追貝
- 事業内容: 現道拡幅 延長 500m 道路幅 10.3m
- 事業期間: 平成27年度～
- 現在の交通量: 9,061台/日(自動車) (令和3年度) 23人/12時間(歩行者) 8台/12時間(自転車)

事業前

- ◆ カーブが連続しているため、道路の見通しが悪く、安全で円滑な通行に支障があります。



事業前の状況

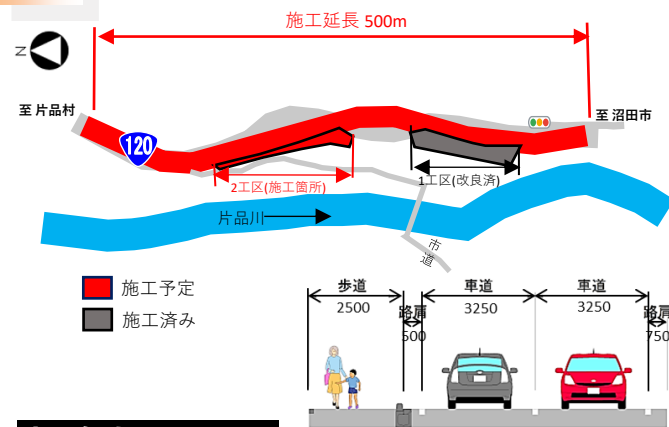
事業後

- ◆ 道路のカーブを緩くして、見通しを良くすることで、円滑で安全な通行を確保します。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、引き続き2工区の道路改良工事を実施します。



成果を示す項目	実施前
解消カーブ数	4箇所
周辺観光施設の観光客数	181万人(H26)

実施後(目標)
0箇所(4箇所減少)
181万人(維持)

県道平川横塚線（川場湯原工区）歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・近年工場の稼働で大型トラックの通行が増え、登下校がとても不安です(地元小学生保護者)
- ・路肩を歩く歩行者を見るたび、大型トラックに接触しないかヒヤヒヤします(学校関係者、地元企業)



事業の概要

- 事業箇所:川場村川場湯原
- 事業内容:歩道整備 延長1,100m、歩道幅員2.5m
- 事業期間:令和4年度～
- 現在の交通量:5,401台/日(自動車) 22人/12時間(歩行者) 10台/12時間(自転車)

事業前

- ◆路肩が狭く、通学するこどもが交通事故の危険にさらされています。



事業前の状況

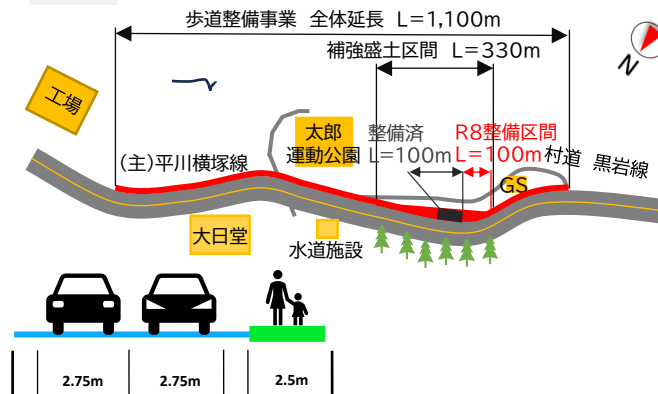
事業後

- ◆歩道を整備し、歩行者の安全な通行空間を確保します。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、用地取得及び、補強盛土区間の歩道整備工事を行います。



成果を示す項目	実施前
法指定通学路の歩道整備率	0%
幅員2m以上の歩道の整備率	0%

実施後(目標)
100%
100%

県道相俣湯原線（阿能川工区）孤立対策事業

R8新規事業

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

道路への落石を防ぐ施設をつくります

地元の声

・過去に斜面から落石や土砂崩落が起きているので、安全に通れるようにしてほしい。（地域住民）

事業の概要

- 事業箇所：みなかみ町阿能川
- 事業内容：落石対策 3箇所
- 事業期間：令和8年度～
- 現在の交通量：331台/日(自動車) (令和3年度)
- 緊急輸送道路区分：指定無し

事業前

- ◆ 道路法面の浸食が進行しており、大雨等の際には、落石や土砂崩落が発生して道路が寸断され、孤立集落が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 法面の落石対策を行うことで、落石や土砂崩落による道路の寸断を防止し、孤立集落が発生するリスクを軽減します。



事業後のイメージ



事業位置
みなかみ町

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



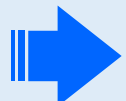
○ R8測量調査・設計

今、何をしているか

令和8年度は、測量調査及び設計(3箇所)を実施します。



成果を示す項目	実施前
落石危険箇所	3箇所



実施後(目標)
0箇所

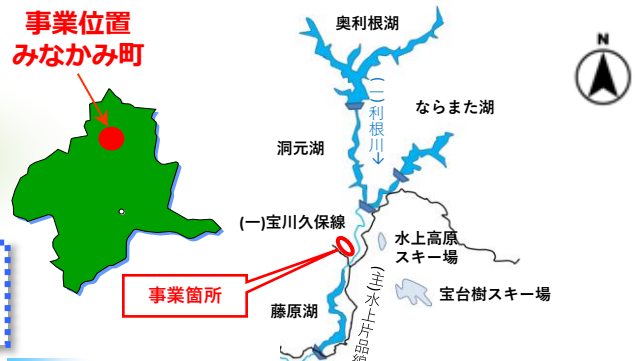
どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

道路への落石を防ぐ施設をつくります

地元の声

・落石の心配をしなくて通行できると安心です(地元住民)



事業の概要

- 事業箇所: みなかみ町藤原
- 事業内容: 落石対策 1箇所
- 事業期間: 令和7年度～
- 現在の交通量: 58台/日(自動車) (令和3年度)
- 緊急輸送道路区分: 指定無し

事業前

◆ 道路法面の浸食が進行しており、大雨等の際には、落石や土砂崩落が発生して道路が寸断され、孤立集落が発生するおそれがあります。

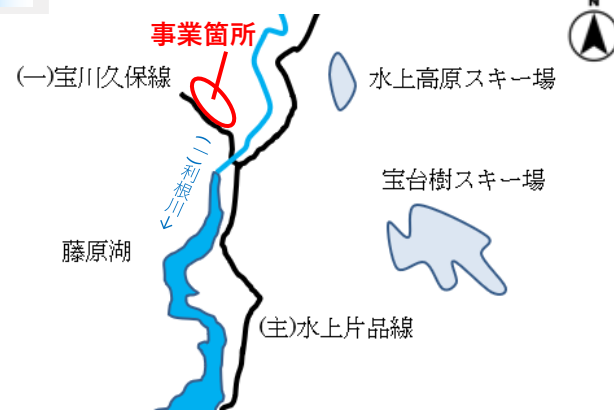


事業後

◆ 法面の落石対策を行うことで、落石や土砂崩落による道路の寸断を防止し、孤立集落が発生するリスクを軽減します。



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、現地調査を行い、最適な工法の設計と、用地取得に向けた準備を行います。



成果を示す項目	実施前
落石危険箇所数	1箇所

実施後(目標)
0箇所



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

道路への落石を防ぐ施設をつくります

地元の声

・市街地へのアクセスルートであるため、安全に通れるようにしてほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所:みなかみ町上津
- 事業内容:落石対策 3箇所
- 事業期間:令和8年度～
- 現在の交通量:1,418台/日(自動車) (令和3年度)
- 緊急輸送道路区分:指定無し

事業前

◆ 道路法面の浸食が進行しており、大雨等の際には、落石や土砂崩落が発生して道路が寸断され、孤立集落が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

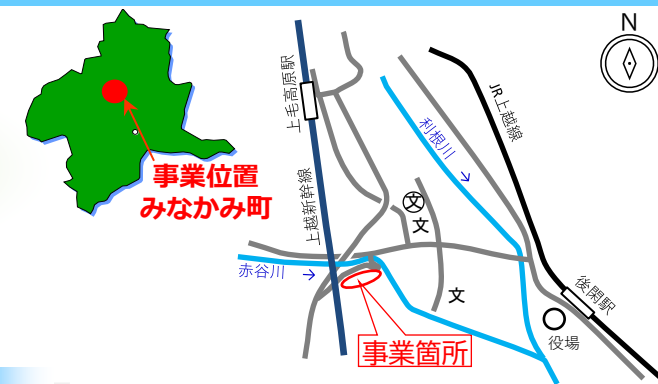
◆ 法面の落石対策を行うことで、落石や土砂崩落による道路の寸断を防止し、孤立集落が発生するリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
落石危険箇所数	3箇所

実施後(目標)
0箇所



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度から法面の調査及び対策工法の設計を行います。



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

法面対策を
 します

地元の声

- 急勾配の斜面が住居と近く、大雨が降ったりすると非常に心配。(地元住民)
- 雨が降ると土砂が流出する危険性があるので対策してほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 沼田市井土上町～下沼田町
- 事業内容: 法面工 A=6,700m²
- 事業期間: 令和7年度～

事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でかけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 法面対策をすることにより、斜面を安定させ、かけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
被害を受けるおそれのある人家	32戸	0戸



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、法面工の詳細設計を行います。



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

擁壁を
つくります

地元の声

- ・急勾配の斜面が住居と近く、大雨が降ったりすると非常に心配。(地元住民)
- ・雨が降ると土砂が流出してくるので対策してほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所:みなかみ町月夜野
- 事業内容:擁壁工 289m
- 事業期間:令和7年度～

事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でかけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

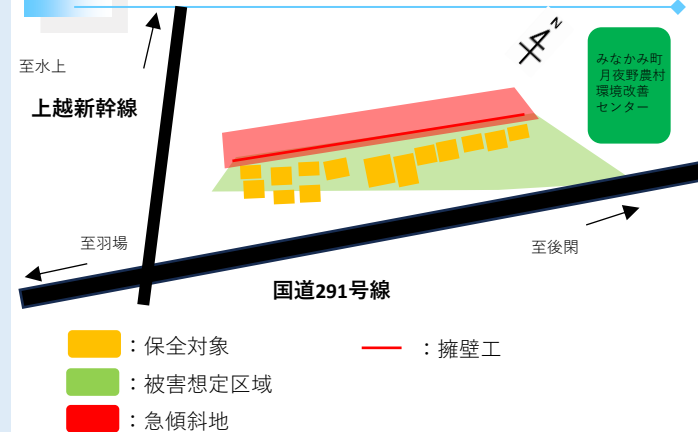
事業後

- ◆ 擁壁をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、かけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、擁壁の詳細設計と地質調査を行います。



斜面の状況

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	14戸
被害を受けるおそれのある施設	国道291号線

実施後(目標)
0戸
0個

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

法面対策をします

地元の声

- ・急勾配の斜面が住居と近く、大雨が降ったりすると非常に心配。(地元住民)
- ・雨が降ると土砂が流出してくるので対策してほしい。(地元住民)



事業の概要

- 事業箇所: みなかみ町湯原
- 事業内容: 法面工 A=190m²
- 事業期間: 令和7年度～

事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でかけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

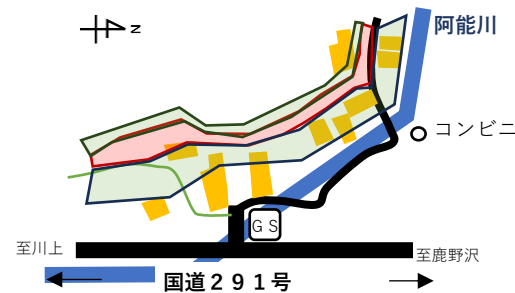
事業後

- ◆ 法面対策をすることにより、斜面を安定させ、かけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、法面の用地測量を行います。



斜面の状況

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	10戸

実施後(目標)
0戸

どのような未来を目指すための事業か

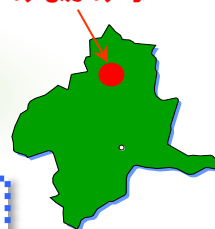
土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくります

地元 の声

- ・過去に、砂利を含む大量の水が道路まで流れたため、土砂流出対策をしてほしい。(地元住民)
- ・豪雨による土砂災害が起こらないようにするため、土砂災害への対策が必要。(地元住民)

事業位置
みなかみ町

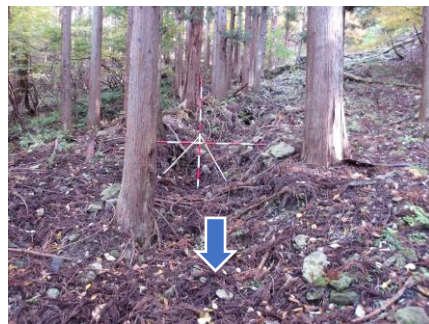


事業の概要

- 事業箇所: みなかみ町小日向
- 事業内容: 砂防堰堤 1基
- 事業期間: 令和7年度～

事業前

- ◆ 溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

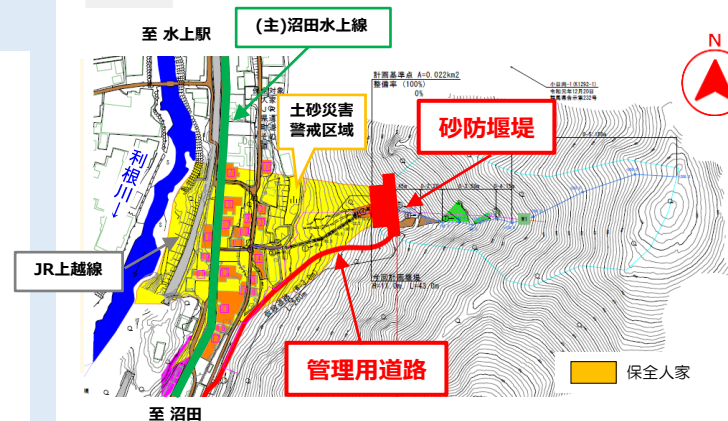
事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、詳細設計と地質調査を行います。



堰堤計画位置

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	20戸
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所 (JR上越線)

実施後(目標)
0戸
0箇所